

事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	農林部農林企画課		■担当係	農林企画係
■評価事業名称	農産物ブランドアップ対策事業			
■事業開始年度				
■評価事業コード	050100 - 057	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり		
	■基本施策	03 魅力ある農林業の振興		
	■施策	02 農産物の高付加価値化と新たな流通の開拓		
■事業の種類	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	農産物や加工品の販路拡大やブランド力の向上による付加価値化を図るため、県アンテナショップ等でのテストマーケティングやイベントへの出店を実施する。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和1年度事業計画	令和1年度事業量実績
01	農産物ブランドアップ対策事業	農家、農業生産法人等の、個人または団体	○首都圏での商談会やイベント出店による農産物等のPR、販路拡大	○アグリフードEXPO東京2019への出店(会場使用料、出店者及び従事者旅費等計533千円)○江東区民まつりへの出店(出店者及び従事者旅費等計496千円)○石垣島まつりへの出店(農産物送料、出店者及び従事者旅費等計1,173千円)

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	備考
直接事業費	2,452	2,527	2,482	2,298	
人件費	3,778	3,849	4,227	2,515	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	6,230	6,376	6,709	4,813	

4. 評価指標等の状況

事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5-6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

首都圏及び友好都市での出店ブースで北上産農産物のPR販売ができた。首都圏で実施された商談会に参加し、北上産米の販路拡大を行うことが出来た。

問題点・課題等

販路として拡大するため、出店時以外の首都圏及び友好都市での常時販売可能な販売先の開拓が必要である。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

一時的な販売でなく、継続的な販路の開拓に繋がるように受注書の配布を併せて行うなどのPR面を強化する。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了